

公営競技で街を元気に

2020年の東京オリンピックを控え、各地でスポーツが注目されています。

公営競技はいずれもスポーツを対象としたギャンブルであり、その収益は主催自治体に還元されるほか、福祉、産業の振興などに使われています。オリンピックの支援にも使われています。

公営競技がtotoやカジノと大きく異なる点は、ギャンブルであると共にスポーツであるので、魅力と迫力あるレースを子供連れで観戦することができるということです。選手になるという親子の夢の場所でもあります。

確かに公営競技は現在衰退していますが、法律の枠内でもまだまだ沢山の改善ができます。むしろいままでほとんど進化してこなかったと言っても過言ではありません。

公営競技も民間委託が可能となった今、民間のノウハウを活かし、あるいは主催自治体と民間が一体になって公営競技を再生し、老若男女が楽しめる場所になりえます。そしてこれは大変有用なことと考えています。

公営競技のスポーツ性、エンターテインメント性を高めることはもちろんですが、たとえば、競技場でレースの無い日には市民や学生に開放され競技の体験や練習の場所にもなります。また家族で楽しめるイベントも多く開催されています。

ギャンブル場としてしか活用されていなかった公営競技場を全ての方のための施設として生まれ変わらせることが、地域及び国内経済／雇用創出／健康増進スポーツ振興への貢献に繋がり「街が元気になる」それが当社の公営競技に対する思いです。